



医療法人社団清智会

清智会記念病院 リハビリテーション部

～市民公開講座の取組み～

<はじめに>

現在、リハビリテーション部では、「救急医療とリハビリテーションの融合を目指し、急性期、回復期、維持期の一貫したリハビリテーション（以下リハビリ）を実現する」、「地域におけるリハビリの中核を担う」ことを目標に地域とのネットワークづくりや地域住民への情報公開と交流を通じて、「地域連携の構築」や「地域に開かれたリハビリ」を実現すべく業務改善に取り組んでいる。

その一環として、地域の方がリハビリに関心を持つことや理解を深めていただく取組みから始めたいと考え、平成 21 年度より「市民公開講座」を開催している。

<目標>

- ・当院近隣の地域の方にリハビリへの関心・理解を深めていただく

<現状>

- ①一般的にリハビリの認知度が低い、特に具体的なリハビリの内容は知られていない
- ②地域住民との交流がほとんどない
- ③地域住民への情報発信は院内掲示・インターネットで行っているが、内容はリハビリテーション部の紹介のみである

<解決策>

- ①リハビリの情報を地域に発信する場を設ける
- ②地域住民との交流の場を設ける

⇒市民公開講座を開催し、地域住民への情報発信と交流する機会を設ける

<具体的な取組み>

市民公開講座の開催

開催年度	講座名	内容
平成 21 年度	「転ばぬ先の会」	転倒予防について
平成 22 年度	「認知症いきいき教室」	認知症・対応方法について
平成 23 年度	「安全に食事を続けていくために」	嚥下障害と食事について

※毎回勉強会開催後、アンケート調査を実施し、地域の方のニーズに応じた勉強会を次年度に開催している。

<おわりに>

市民公開講座を開催することで地域住民への情報発信・収集が可能となり、リハビリへの関心・理解が深まり、「地域に開かれたリハビリ」の実現への第一歩になると考えている。今後も市民公開講座をもとに地域の声を集め、地域に役立つ情報を発信できるような取組みを継続的にいきたい。